

筑波クリエイティブ・キャンプ

ベーシック&アドバンスト

～つくばの起業が未来を変える～

●ベーシック	
科目情報	学群自由科目（特設）
開設学期・曜日時限	春 AB 集中
担当教員	野村 豪、五十嵐 浩也、尾崎 典明

●アドバンスト	
科目情報	学群自由科目（特設）・大学院共通科目
開設学期・曜日時限	秋 AB 集中
担当教員	神谷 誠、五十嵐 浩也、森川 亮

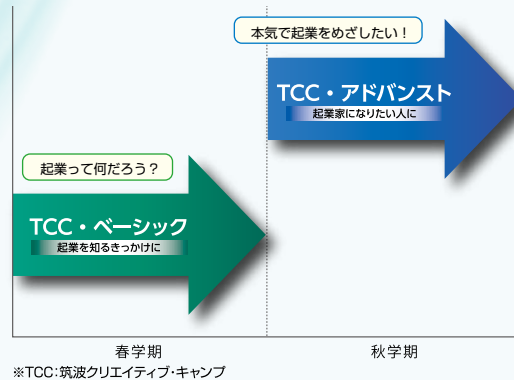
◆ 授業概要

筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック —アントレプレナー入門講座—

LINEのように、皆さんが広く知ってるビジネスも、始まりはひらめきからスタートしています。そのひらめきを実行したいというモチベーションが起業マインドそのものです。この講座では、第一線で活躍する有名起業家等による講演やパネルディスカッション、そしてひらめき（ビジネス着想）からビジネスモデル構築までをチーム編成して実際に体験するワークショップを実施します。

実践編

入門編



筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト:

本格的に起業を目指す受講者に対して、本学出身者を中心とする経営者陣が起業プランに対する個別メンタリングを行ないます。C Channel 株式会社代表取締役社長の森川亮氏コーディネートのもと、受講者の持つ起業プランを具体化し、筑波大学発ベンチャーの設立を支援していきます。講義を交えながらグループ活動発表とフィードバックを中心に行って、最終発表会で投資家や経営者などの審査員の前で事業プランを披露します。

◆ 開設目的

大学での研究や、自分の関心を元に起業をすること、また、将来のキャリアとしての起業をするという選択肢について学びます。起業について知ることは、実際に起業をする人だけでなく、研究においても自分の研究結果がどう社会に貢献するかを見据えることに役立ちます。今すぐに起業をしなくても、「自分の思いで社会を変える!」というイノベーション的視点を持った人材の育成を目指します。

※プログラムを終了し、要件を満たした方には、「創業支援事業計画」に基づく特定創業支援事業の支援を受けた創業者としてつくば市が証明書を発行します。これにより、つくば市内で創業する方は、法人設立時の登録免許税の軽減や、融資を受ける際に創業関連保証枠の拡充等の優遇措置を受けることができます。

筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック&アドバンストの様子



ベーシック 授業風景



ベーシック 授業風景



アドバンスト
起業プラン発表会



アドバンスト
起業プラン発表会

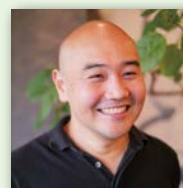
予定している講師陣

筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック

尾崎 典明 氏

筑波大学客員教授、S-factory 代表、一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ 副代表理事、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術委員、一般社団法人発明推進協会研究員 他。

100社を超える中小企業・ベンチャー等に対し事業開発支援の経験、官公庁スタートアップ支援事業における各種アドバイザー経験がある。



筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト

森川 亮 氏

1989年筑波大学卒、日本テレビ入社。1999年、青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修士課程を修了し MBA 取得。その後ソニーに入社。2003年ハンゲームジャパン（現 LINE 株式会社）入社、07年社長。2015年3月、同社代表取締役社長を退任しアドバイザーとして顧問に就任。同年4月、C Channel 株式会社代表取締役に就任。現在は、同社代表取締役社長。



▶普通に学生生活をしている大学生でも、目線や行動を変えるだけで世界を驚かすイノベーションを生み出すことが可能です。どうせ1回きりの人生、思いっきり挑戦しましょう。
(森川氏)

◆ その他の起業に関連した授業

「次世代起業家養成講座」

(科目番号：1226194 学士基盤科目 春 BC 木 4)

～社会課題解決型の起業家精神を学ぶ

起業家精神（アントレプレナーシップ）とは、必ずしも起業することを意味するのではなく、自立していくためのキャリア形成にとってすべての人が身に付けるべきものです。本授業では、社会的な課題を、つくば地区に顕在化するシーズ/ニーズを元に解決する検討を通じて、アントレプレナーシップの基本知識と考え方（アイデア発想やビジネスの基本、チーム活動、プレゼン力等）を PBL 形式で習得します。



次世代起業家養成講座 授業風景

「起業家のための経営・知財必須知識」(科目番号:8320504 学群自由科目(特設) 秋 AB 集中)

～起業で失敗しない実務を学ぶ

次世代の起業家として必要な知的財産と戦略、ファイナンス、経営、マーケティング、契約などを講義・演習により習得し、事業化する際のリスク低減ができるようになることを目指します。将来、企業において事業開発を推進する上でも役立つ知識です。